



東京通信病院ニュース

Vol. 108

けんこう家族

発行 / 東京通信病院

平成25年4月1日

〒102-8798 東京都千代田区富士見2-14-23
TEL 03 (5214) 7111(代)

http://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/

東京通信病院は(財)日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定病院です。

認定第J C 2 1 5号

緩和ケア病棟の開設



院長補佐
麻酔科部長
平石 禎子

平成25年3月1日 東京通信病院の9階に緩和ケア病棟が開設されました。就任以来、木村 哲前院長は「がん難民を作らない」という強い信念の下でがん医療に取り組み、緩和ケアチーム、がん相談支援室を設立し、今年度は待望の緩和ケア病棟を立ち上げられました。私も足掛け7年あまり、緩和ケアチームの一員として緩和医療に取り組んでまいりましたが、今年度から病棟のスタッフの一員として皆さまのお役に立てればと思っています。

がんは国民の約2人に1人はなりうる病気で、高齢化が進むにつれて、ますますその比率は高くなっています。



緩和ケア病棟 病室



談話室



キッチン

え、いまやがんは慢性疾患として捉えられようになっています。厚生労働省は平成18年にがん対策基本法を策定し、緩和ケア(緩和医療)を終末期に特化したものから、診断されたその日から、診断されたその日から精神的肉体的苦痛に対しての緩和ケアを開始するように推奨しています。さらには近年では、緩和ケア病棟も単なる看取りの場から、再発後の長いがんと戦いながら生活を取り戻すこと、新たな在宅での生活を戦う体力を整える場として提供できるように

なっています。もちろん、今でも緩和ケア病棟では積極的ながんの治療(手術治療、化学療法など)は行いませんが、そのぶん体力や精神力の回復に理学療法を取り入れるなど、心身の回復に力を注いでいます。当院でも、その方針に沿って開設されたわけです。

私は緩和ケアチームの一員としての経験から、次々に提示される治療に、患者さん本人ばかりでなく、ご家族も疲れ果ててしまっている方に出会い、今まで診療していた主治医と緩和ケア医が協力し、診療に当たる体制になっていきます。また、病棟で

は、多くのご家族がお見舞いに来られても過ごせる談話室や和室、キッチンがあります。緩和ケア病棟の利用や見学をご希望される方は、主治医、病棟看護師、がん相談支援室を介してご相談いただけます。

がんという病と戦っておられる方は、色々な悩みを抱えられていると思います。患者さんばかりでなく、支えているご家族も気軽にがん相談支援室、緩和ケア外来などを通じて、色々な悩み事を相談いただけます。

当院には緩和ケアチームが誕生したのは平成18年のことです。今年で発足7年となります。緩和ケアチームは当初、看護師1名、医師1名で始めました。最初はなかなかうまくいかないこともありました。緩和ケアチームに何ができるのか、何をしてくれるチームなのかといったことが、患者さんにはもちろんのこと、病院職員にも浸透していなかったためです。

多くの患者さんやご家族の苦痛に対応するために、緩和ケアチームを通じて緩和ケア病棟の開設により、緩和ケア病棟の開設により、緩和ケアチームが皆さまを支援すること、より安心できる場所となります。また、病棟で

がん相談支援室



がん看護専門看護師
看護部主任
矢野 和美

がん相談支援室では、患者さんやご家族、地域の方々の心配ごとや気がかりを少しでも解決できるようにお手伝いをさせていただきます。また、地域の医療者の方々からの、がんに関するあらゆる相談をお受けしています。相談件数は、8・15件/日で、がんと診断を受ける前から終末期に至るまで、あらゆる病期の相談をお受けしています。相談は、

この「語りあいの会」を通じて、医療者を含めた参加者それぞれが日々の自分を振り返り、人と人が支え合っていることを再認識できる機会になっています。開催する者として、目の前の人と人との言葉を交わしあい、癒しあうことで、

緩和ケアチームの活動



がん疼痛看護認定看護師
看護部主任
近藤 梨津子

アを受ける患者さんは、年間140人を超えるようになってきています。緩和ケアチームの活動開始当初は、疼痛緩和の依頼がほとんどを占めていました。しかし、患者さんや支えるご家族には、疼痛以外にも、精神面の苦痛、社会的苦痛など多くの苦悩が複雑に存在していることが明らかとなり、最近では精神症状や疼痛以外の身体症状の緩和の依頼が増えてきています。そのため、緩和ケアチームのメンバーも充実してきました。現在は、多職種のメンバーが揃い、多様な苦痛に対応しています。身体症状担当の医師、精神症状担当の医師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん専門看護師をはじめ、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士と人材は豊富です。そのほか、必要に応じて理学療法士がリハビリテーションを担当しています。苦痛の緩和とリハビリテーションを行うことで、患者さんのQOL(生活の質)は改善され、在宅での療養も可能となってきています。これら緩和ケアチームのメンバーで、主治医や病棟の担当看護師と連携を取りながら、さまざまな苦痛を除去するための緩和ケアに日々取り組んでいます。

今後も、緩和ケアチームとして、症状緩和と患者さんやご家族のQOL向上を目標に、多職種のスタッフがそれぞれの能力を発揮して、さまざまな側面から緩和ケアに取り組んでいきたいと思っています。

退院時患者アンケート(第2回)および患者満足度調査(第20回)の実施

当院では、平成15年以來、年に2回、全てのご利用者を対象にアンケート調査を実施させていただいております。今回で20回を迎えました。

また、昨年12月に第2回目の退院時患者アンケートを実施しました。

皆さま、ありがとうございます。

皆さま、ありがとうございます。

皆さま、ありがとうございます。皆さまの率直な声をお聞きして、よりよい病院をつくるためのものです。アンケートの結果は、病院として真摯に受け止め、ご期待に沿えるよう病院運営に反映させていただきます。

退院時患者アンケート

【実施期間】

平成24年12月1日(土)～平成24年12月31日(月)の平日

【対象の方】

実施期間中に退院された患者さん全員

【アンケート用紙配布方法】

退院手続き時に入院窓口に配布しました。

【回収方法】

窓口近くに回収箱を設置し、その場で記載いただける場合は即日回収。後日の場合は返信用封筒をお渡しし返送していただきます。

【回収率】

29.0%

【回答していただいた患者さんの特徴】

最多年齢層 70～79歳
性別 男性63.2% 女性36.8%

平均入院期間 11.8日

【アンケートの測定法】アンケートの質問ごと、回答内容を「そう思

う」5点、「ほぼそう思う」4点、「どちらでもない」3点、「あまりそう思わない」2点、「思わない」1点として換算し、平均点を算出しました。

【アンケートの集計結果】

表1のとおり

【患者満足度調査(第20回)】

【実施日】

平成25年1月25日(金)

【対象の方】

外来… 調査日に診察を受ける外来患者さん全員(救急等、重症の方を除く)

入院… 実施日に入院されている患者さん全員

※外来、入院とも患者さん本人による記載が難しい場合は、家族等による記載も可能としました。

【回収率】

外来… 59.8%
入院… 66.0%

【回答していただいた患者さんの特徴】

外来… 平均年齢 56.17歳
性別 男性(60.9%)、女性(39.1%)

入院… 平均年齢 64.99歳

性別 男性(63.1%)、女性(36.9%)
平均入院(予定)期間 25.3日
個室に入院した方の割合 20.2%

【満足度の測定方法】

アンケートの質問ごと、回答内容を「満足」5点、「ほぼ満足」4点、「ふつう」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として換算し、平均点を算出しました。

※一部「大変満足」5点、「満足」4点、「ふつう」3点、「不満」2点、「大変不満」1点とした項目あり。

【アンケート集計結果】

表2のとおり

表3のとおり

表1

【質問項目】	平均値
1 全体として当院に満足されましたか?	4.51
2 治療の結果に満足されましたか?	4.55
3 入院中に受けた治療に納得されましたか?	4.59
4 治療にご本人の考えが反映されていましたか?	4.49
5 全体として当院は信頼できる病院でしたか?	4.65
6 職員の説明についてお伺いします。	
a 医師の説明はわかりやすいものでしたか?	4.71
b 看護師の説明はわかりやすいものでしたか?	4.61
c 薬剤師の服薬指導はわかりやすいものでしたか?	4.65
d 検査技師の説明はわかりやすいものでしたか?	4.55
e 窓口事務職員の説明はわかりやすいものでしたか?	4.54
7 入院期間(約 日間)	4.51
8 入院期間(約 日間)	11.83
9 当院をご家族や知人に勧めたいと思われましたか?	4.56
10 スタッフは「リストバンド」でご本人を確認していましたか?	4.68
全平均(満足度)	4.59

表3

【質問項目】	平均値
◆施設・入院生活に関して	3.84
1 トイレ及び洗面所は清潔で使いやすいですか?	3.85
2 病棟及び病室の設定温度に満足されましたか?	3.76
3 病棟及び病室の清掃はいきとどいてますか?	4.31
4 病棟及び病室内の静かさはいかがですか?	3.92
5 病室の設備(テレビ、ロッカー、カーテン等)に満足されましたか?	3.79
6 入浴・シャワーを利用された方にお尋ねします。	—
a 入浴・シャワーの設備に満足されましたか?	3.80
b 入浴・シャワーの回数に満足されましたか?	3.96
7 売店の印象はいかがですか?	3.78
8 飲食施設についてお尋ねします。	3.56
a 食堂(ポールライト)、喫茶(紅茶の国)の印象はいかがでしたか?	3.39
b コーヒーショップ(カフェ・ド・クリエ)の印象はいかがでしたか?	3.70
9 家族等の面会時間は適切ですか?	3.88
10 パジャマ・タオル類のレンタルをご利用の方にお尋ねします。着心地・料金・交換等、レンタル制度に満足されましたか?	3.74
11 個室をご利用の方にお尋ねします。設備・個室料金等に満足されましたか?	3.46
◆入退院について	4.34
1 入院時にお渡しした「入院のしおり」の内容や入院生活に関する説明に満足されましたか?	4.25
2 受付職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみはいかがですか?	4.42
◆医師について	4.35
1 医師の回診時間は適切ですか?	4.16
2 病状に対して適切に対応していますか?	4.41
3 医師による治療経過や手術内容などの説明に納得(満足)されましたか?	4.36
4 担当医に信頼感が持てますか?	4.55
5 患者さまのさまざまな悩みや相談に対する適切な対応ができていますか?	4.30
6 医師から看護師への連絡は取れていますか?	4.30
7 医師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.47
8 患者さまのプライバシーの保護に関してはいかがですか?	4.28
9 退院後に関する説明に満足されましたか?	4.23
◆看護職員について	4.28
1 話しやすい雰囲気をもっていますか?	4.38
2 患者さまが頼んだことに対して確実に対応していますか?	4.54
3 患者さまのさまざまな悩みや相談に対する適切な対応ができていますか?	4.23
4 看護職員の説明に納得(満足)されましたか?	4.34
5 看護職員同士の連絡は取れていますか?	4.19
6 看護職員から医師への連絡は取れていますか?	4.33
7 看護職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.40
8 患者さまのプライバシーの保護に関してはいかがでしたか?	4.22
9 ナースコールを押されてから看護職員が来るまでの時間はいかがですか?	4.28
10 採血を受けられた方にお尋ねします。看護職員の採血の技術に満足されましたか?	4.06
11 看護職員の介助で身体を移動された方にお尋ねします。その時の手際のよさはいかがでしたか?	4.29
12 シーツ交換を受けられた方にお尋ねします。シーツが汚れたときにすぐに交換されましたか?	4.02
13 看護職員に身体を拭いてもらった方にお尋ねします。その時の拭き方や湯の温度に満足されましたか?	4.20
14 寝巻き(パジャマ)の交換をされた方にお尋ねします。その時の手際のよさはいかがでしたか?	4.33
15 排泄時の介助を受けられた方にお尋ねします。その時の介助は手早く確実にできていましたか?	4.16
◆その他の職員に関して	4.17
1 薬剤師の説明を受けられた方にお尋ねします。	4.39
a お薬の飲み方や効能などについての説明に納得(満足)されましたか?	4.34
b 薬剤師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.44
2 画像検査(レントゲン、CT、MRI等)を受けられた方にお尋ねします。	4.16
a 放射線技師の検査に関する説明は十分でしたか?	4.11
b 検査中の技師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.21
3 生理機能検査(心電図、肺機能等)を受けられた方にお尋ねします。	4.06
a 検査技師の検査に関する説明は十分でしたか?	4.04
b その時の職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.07
4 栄養指導を受けられた方にお尋ねします。	3.92
a 栄養士の説明は十分でしたか?	3.89
b その時の栄養士の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	3.94
5 医療相談室を利用された方にお尋ねします。	3.96
a 相談内容に対しての説明に満足されましたか?	3.92
b その時の職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.00
6 リハビリテーション(理学・作業・言語療法)を受けられた方にお尋ねします。	4.14
a 訓練内容に関する説明は十分でしたか?	4.10
b その時の職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.18
◆食事について	3.58
1 食事のメニューに満足されましたか?	3.48
2 食事の味に満足されましたか?	3.38
3 食事の温度は適切ですか?	3.64
4 配膳時間はいかがですか?	3.75
5 食事の量に満足されましたか?	3.65
◆ホームページに関して	3.96
当院のホームページをご覧になった方にお尋ねします。情報提供の内容は十分でしたか?	3.96
◆全般的なことに関して	4.18
1 今後も当院を利用したいと思われますか?	4.70
2 当院を他の方に紹介したいと思われますか?	4.53
3 この病院での診療に満足していますか?	4.27
全平均(満足度)	4.18

表2

【質問項目】	平均値
◆施設・設備に関して	3.89
1 診察室・検査室・トイレなどの院内の案内表示は、分かりやすいものでしたか?	4.08
2 院内の掲示は、受診時に必要な情報が提供されていると思われましたか?	3.83
3 トイレは清潔で使いやすいですか?	3.95
4 売店の印象はいかがでしたか?	3.79
5 一般食堂、喫茶店の印象はいかがでしたか?	3.52
a 食堂(ポールライト)、喫茶(紅茶の国)の印象はいかがでしたか?	3.40
b コーヒーショップ(カフェ・ド・クリエ)の印象はいかがでしたか?	3.63
6 院内の設定温度に満足されましたか?	3.86
7 院内の清掃はいきとどいていましたか?	4.18
8 診療科前の待合場所の広さや椅子の数は、適切ですか?	3.98
◆受付及び会計窓口について	3.82
1 来院されたときの受付職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.11
2 自動受付機に診療カードを通された方にお尋ねします。機械の操作はわかりやすいですか?	4.20
3 会計の待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.05
4 診療費を支払われたときの会計の職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	3.92
◆医師の診察について	4.03
1 診察までの待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.24
2 医師の診察時間はいかがでしたか?	3.88
3 病状に対して適切に対応してましたか?	4.14
4 医師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.26
5 医師に信頼感が持てましたか?	4.34
6 患者さまのさまざまな悩みや相談に対する適切な対応ができていましたか?	4.10
7 医師から看護師への連絡は取っていましたか?	4.12
8 患者さまのプライバシーの保護に関してはいかがでしたか?	4.07
9 検査結果や病状、治療内容などについての説明に満足されましたか?	4.13
10 お薬の飲み方や注意事項に関する説明に満足されましたか?	4.02
◆看護職員の対応について	3.99
1 話しやすい雰囲気をもっていましたか?	4.03
2 患者さまが頼んだことに対して確実に対応できていましたか?	4.06
3 看護職員の説明に納得(満足)されましたか?	4.03
4 患者さまのさまざまな悩みや相談に対する適切な対応ができていましたか?	3.93
5 看護職員同士の連絡は取れていましたか?	3.83
6 看護職員と医師との連絡は取れていましたか?	3.94
7 看護職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.04
8 患者さまのプライバシーの保護に関してはいかがでしたか?	3.99
9 看護職員は痛みや苦痛があることを理解して対応してましたか?	3.95
◆検査、リハビリ等について	3.75
1 院内でお薬を処方された方にお尋ねします。	3.75
a お薬が処方されるまでの待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.63
b 薬剤師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	3.88
2 画像検査(レントゲン、CT、MRI等)を受けられた方にお尋ねします。	4.12
a 検査までの待ち時間の長さはいかがでしたか?	4.03
b 放射線技師の検査部位に対する確認は十分でしたか?	4.13
c 検査中の技師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.19
3 検体検査(血液検査(採血)、尿検査など)を受けられた方にお尋ねします。	3.76
a 検査までの待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.47
b 検査に関する説明は十分でしたか?	3.80
c 検査中の看護職員・検査技師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	4.00
4 生理機能検査(心電図、肺機能等)を受けられた方にお尋ねします。	3.97
a 検査までの待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.99
b 検査技師の検査に関する説明は十分でしたか?	3.95
c 検査中の技師の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	3.98
5 リハビリテーション(理学・作業・言語療法)を受けられた方にお尋ねします。	3.86
a 診察までの待ち時間の長さはいかがでしたか?	3.81
b 職員の訓練に関する説明は十分でしたか?	3.81
c その時の職員の対応(言葉づかい、態度)、身だしなみに満足されましたか?	3.96
◆ホームページに関して	3.55
当院のホームページをご覧になった方にお尋ねします。情報提供の内容は十分でしたか?	3.55
◆全般的なことに関して	4.73
1 今後も当院を利用したいと思われますか?	4.73
2 当院を他の方に紹介したいと思われますか?	4.38
3 この病院での診療に満足していますか?(第19回から)	4.27
全平均(満足度)	3.98

下肢静脈瘤と治療 新しい治療「レーザー」について



外科 医師
永吉 実紀子

下肢静脈瘤はとても頻度の高い病気で、最近新しい「切らない治療」も出てきたので注目されている病気で、今回はそのお話をしたいと思います。

1. 下肢静脈瘤とは

足の血管が太く浮き出ているものを「下肢静脈瘤」といいます。太いものから細いものまで、4つのタイプに分類されます。(写真1)

2. 静脈瘤の症状

足の血管が浮き出ているほかに、少し進むと足がだるい・重い・むくむ

① 伏在静脈瘤・最も太く、外来に見える

② 側枝静脈瘤・やや細いタイプ。膝下前

皮膚硬化・潰瘍などの症状



写真1 下肢静脈瘤

面などによく見られます。

③ 網目状静脈瘤・さらに細かいタイプ。膝裏などによく見られます。

④ クモの巣状静脈瘤・最も細く、直径1mm以下の細かい静脈瘤です。

4. 静脈瘤の原因

血管には動脈と静脈があり、心臓から勢いよく

きれいな血液を送り出すのが動脈、体の端から心臓へ古い血液をゆつくり戻すのが静脈の役割です。

静脈はゆつくり流れるの

で、心臓に戻りやすくするために血管の内側の壁に「逆流防止弁」が付いて

います(足の場合)

合は下から上向きストッキングを履くと



写真2 静脈瘤と色素沈着、潰瘍

写真1、2 出典：「下肢静脈瘤＝原因と治療」平井正文著、愛知県立看護大学監修



写真3 血管内レーザー治療



写真4 ELVes レーザー

が起ります。(写真2)

3. 静脈瘤のできやすい人

性別・女性に多く、特に妊娠・出産の回数が多いと増えます。

年齢・年齢とともに増えます。

③ 網目状静脈瘤・さらに細かいタイプ。膝裏などによく見られます。

④ クモの巣状静脈瘤・最も細く、直径1mm以下の細かい静脈瘤です。

⑤ ストリッピング (静脈除去) 手術

根本治療として従来から行われていた方法です。

足の付け根と膝下にそれぞれ1〜2cmメスを入れて、悪い静脈の中にワイヤーを挿入して静脈を抜いて取ってしまうという

治療法です。腰椎麻酔(下半身麻酔)や全身麻酔で行うことが多く、その

場合入院が必要になり

ます。

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

は、局所麻酔で手術できること、傷が2〜3mmだけで目立たないこと、日

帰りやすくなります。弾性ストッキングを履くと

足が軽くなって楽になります。④ 血管内レーザー治療

② 硬化療法

静脈瘤に直接針を刺して、薬(硬化剤)を注射

して静脈瘤をベタコンにしてつぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

は、局所麻酔で手術できること、傷が2〜3mmだけで目立たないこと、日

帰りやすくなります。弾性ストッキングを履くと

場合入院が必要になります。

⑤ ストリッピング (静脈除去) 手術

根本治療として従来から行われていた方法です。

足の付け根と膝下にそれぞれ1〜2cmメスを入れて、悪い静脈の中にワイヤーを挿入して静脈を抜いて取ってしまうという

治療法です。腰椎麻酔(下半身麻酔)や全身麻酔で行うことが多く、その

場合入院が必要になり

ます。

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

は、局所麻酔で手術できること、傷が2〜3mmだけで目立たないこと、日

下には保険診療が認められます。④ 血管内レーザー治療

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

は、局所麻酔で手術できること、傷が2〜3mmだけで目立たないこと、日

帰りやすくなります。弾性ストッキングを履くと

場合入院が必要になります。

⑤ ストリッピング (静脈除去) 手術

根本治療として従来から行われていた方法です。

足の付け根と膝下にそれぞれ1〜2cmメスを入れて、悪い静脈の中にワイヤーを挿入して静脈を抜いて取ってしまうという

治療法です。腰椎麻酔(下半身麻酔)や全身麻酔で行うことが多く、その

場合入院が必要になり

ます。

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

下には保険診療が認められます。④ 血管内レーザー治療

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

は、局所麻酔で手術できること、傷が2〜3mmだけで目立たないこと、日

帰りやすくなります。弾性ストッキングを履くと

場合入院が必要になります。

⑤ ストリッピング (静脈除去) 手術

根本治療として従来から行われていた方法です。

足の付け根と膝下にそれぞれ1〜2cmメスを入れて、悪い静脈の中にワイヤーを挿入して静脈を抜いて取ってしまうという

治療法です。腰椎麻酔(下半身麻酔)や全身麻酔で行うことが多く、その

場合入院が必要になり

ます。

④ 血管内レーザー治療

今話題になっている最新治療法は「血管内レーザー治療」というもので

す。これは膝下に針を刺して、悪い静脈内でレーザーを照射して、レーザーの熱で静脈の内腔を

つぶす方法です。硬化療法は、太いタイプは再発

が多く、細かいタイプは広い範囲に静脈瘤がある場合

世渡りのコツ 「素直な性格」の人との付き合い方のコツ



精神科 部長
亀山 知道

前回は、人の性格は、他人の言うことを受け入れ、指示に従う「素直な性格」と、私のように他人の指示に素直には従わない、「気難しい性格」のふたつに大別されることを述べました。今回は、「素直な性格」の人と付き合い合うコツについて書いてみます。

「素直な性格」の人、特に大きなストレスを感じることもなく、順調に社会生活を送ることができていた時には、こちらは、特段の配慮をする必要もありません。ごく普通に付き合っていれば良いのです。

社会生活を円滑に送るといって観点からすると、家族や上司や医療スタッフなどの指示に素直に従う「素直な性格」の方は、周りからも受け入れられ、社会に適応しやすいのは事実です。外來で患者さんの話を聞いていると、多少の不満を感じても文句を言わず、与えられた仕事を、黙々とこなしている「素直な性格」の患

「こうしなさい」と、具体的に指示を出すようにしています。たとえば、選択肢がふたつあって、どちらを選ばせるのがより良いか、私自身が迷うことも少なくないので、具体的な指示を出します。ここで、重要なことは、相手を迷わせないことです。ですから、私自身が迷っても、「どちらを選り切って指示を出し、相手を迷わせないようにします。」

問題は、そういう「素直な性格」の方が逆境にあつて、悩んでこちらに相談を持ちかけてきた時、あるいは、いくつかの選り切って指示を出し、相手を迷わせないようにします。

悩みの程度が軽く、本能的に、「繰り返し」、「時機を失せず」に、「断定的に」、「繰り返す」、「時機を失せず」に、「断定的に」、「繰り返す」

「時機を失せず」に、「断定的に」、「繰り返す」

「断定的に」、「繰り返す」

「断定的に」、「繰り返す」

「断定的に」、「繰り返す」

「断定的に」、「繰り返す」

「断定的に」、「繰り返す」

ナースステーション

病気への災害対策



外来
看護師長
梅木 恵美子

外来看護師は、地下の放射線科、1・2階の各科診療科、内視鏡室、外来治療室、採血室、人間ドックセンターを含めた広い範囲を担当しています。「○科の看護師」という事ではなく、日によって時間によって看護師が変わることがあります。抱え込まず声をお掛けに合わせ適切な看護ケアが提供できるよう、曜日によってストーマ、フットケア、透析予防外来、糖尿病療養指導など専門の看護師も働いています。また、昨年の秋頃からは病棟看護師が外来を担当する日が増え、以前より病棟・外来双方の連携が取りやすくなり、繋がる看護になるように考えています。

急速に進む高齢化と人口減少、患者参画型医療（患者さんも医療行為に参加する重要なメンバー）、「自分の健康は自分で守る自覚を持つ」…と、社会や医療をとりまく環境は目まぐるしく変化しています。病気を保持しながら生活することの心細さを日々感じずにはいられません。「忙しそうです。」「○科の看護師」とうだから」と躊躇なさいますか？どこで被災するかはわかりません。治療が無いからと無理をして自宅に取りに帰るとは危険です。災害後、通院中の病院で診てもらえるように、患者さんやご家族の方のお役に立ちたいと考えています。

話は変わりますが、3月11日は朝から震災の映像が放送されていました。東日本大震災から丸2年が経っていますが、いまだその爪痕の深さに心が痛みました。被害に遭われた皆さまに、改めて心よりお見舞い申し上げます。そして、今後30年以内にマグニチュード7程度の首都直下地震が起

分を守る自覚を持つ」…る確率は70%とされています。そこで、災害対策の中の「病気への災害対策」について少し詳しく書かせていただきます。

① **重要な薬は覚えておく**
自分の飲んでいる薬の名前を覚えていらつしやいますか？どこで被災するかはわかりません。治療が無いからと無理をして自宅に取りに帰るとは危険です。災害後、通院中の病院で診てもらえるように、患者さんやご家族の方のお役に立ちたいと考えています。

② **2・3日分を携帯**
予備の治療薬は「非常用持ち出し袋」に入れるだけでなく、外出時にも

携帯しましょう。面倒でも治療薬は、新しく処方される度に入れ替えることも理想的です。

③ **食事療法が必要な患者さんの注意**
避難所などで支給される食事は炭水化物（おにぎり、パン、インスタントラーメンなど）が多く、エネルギー量や栄養素、塩分のバランスが崩れがちになります。普段から食事の目安量覚えておくことが良いと言われています。また、避難所ではトイレが不便なため水分補給を制限しがちです。しかし、水分不足は便秘や脱水症状をきたし、持病を悪化させたり、血管の中に血の塊りができたり詰まったりする原因になります。こまめに水分を摂りましょう。



新任医師紹介

☆平成25年1月1日付採用



皮膚科 医師
たかはし あきこ
高橋 暁子

患者さまに納得いただける医療を提供できるように努力してまいります。よろしくお願いたします。

☆平成25年1月21日付採用



皮膚科 医師
すぎた みさき
杉田 美樹

お一人お一人に丁寧で分かりやすい診療を心がけてまいります。よろしくお願いたします。

温冷配膳車が配備されました。

平成25年1月18日より、食事をお届けする配膳車が新しくなりました。従来の配膳車は、配膳車自体に温度管理をするシステムがありませんでしたが、新しく導入された配膳車には、「温蔵機能」、「冷蔵機能」が付いており、メニューに合わせて

適温にすることが可能となりました。この機能を活かし、さらに皆さまに喜ばれる食事の提供に努めてまいります。



当院を退職しました

★平成25年1月21日付退職

加藤真梨子（皮膚科医師）

★平成25年3月31日付退職

木村 哲（院長）
是永 建雄（放射線科部長）
小松 研二（麻酔科主任医長）

糸山 智（感染症内科医長）
北爪 勉（小児科医師）
西寫 大宣（耳鼻咽喉科医師）
袖田知賀子（内分泌代謝内科医師）
徳重 真一（神経内科医師）
奴田 絢也（消化器内科医師）
岡田 啓（腎臓内科医師）

吉田紗知子（呼吸器内科医師）
児玉 華子（内科医師）
吉村俊太郎（外科医師）
松川 昇平（小児科医師）
福田 玲奈（眼科医師）
塚原 弥生（放射線科医師）



東京通信病院のご利用案内 ~全科診療予約制を実施しています~

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

●月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く。）

予約の方法・予約受付の時間帯等

●電話での予約…9：00～17：00
●電話番号…03-5214-7381

時間外（急患）診療

●連絡先…03-5214-7768（救急診療室）

診療受付時間

窓口	午前の診療	8：30～11：00まで
	午後の診療	12：30～16：00まで
自動受付機（予約のある方のみ）		8：00～16：00まで

ホームページアドレス <http://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>
メールアドレス admin@tth-japanpost.jp

交通のご案内

